



そろそろ定期試験が迫ってきました。年明け以来遠隔講義も多いですがいかがお過ごしですか。さて今号は足立先生のエッセイ、ウィークエンド・ロースクールのお知らせ、刑事訴訟法ゼミの活動報告です。コロナ禍でも工夫しながら学外との交流が進められています。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 47 回 足立英彦先生（法理学）

コロナ禍の中で自分の講義を改めた、という話をしたいと思います。

私の昨年度までの講義のほとんどは板書形式でした。教科書は指定せず、毎年講義ノートを作成し、それを見ながら板書をしつつ解説するという形式です。このような講義を遠隔授業で行うことは難しいため、講義の方式を抜本的に改めました。まず、説明したい内容を全部文章にし、LMS（授業の Web）に保存しました。これは講義ノートを準備するよりも数倍の時間がかかります。しかし文章にすることで、説明が不十分で分かりにくい箇所をいくつも発見し、補足・修正した結果、内容がかなり良くなったように思います（あくまで主観的な評価ですが…）。また、択一問題を LMS に設け、文章を読んでから解いてもらうようにしました。後期に入って教室で授業をできるようになってからは、事前に文章を読み問題を解いてもらい、教室で授業をする際には（Zoom でも同時中継・録画しています）レジュメに基づき内容を解説する、という形に落ち着きました。履修者の学習成果は期末試験を経ないと分かりませんが、少なくとも評判は悪くないようです。

しかしこれって、ものすごく伝統的な「教科書での予習+教室での講義」形式と同じですね。コロナで苦労した結果、ようやく私は伝統の大切さを理解したようです。

昨年度までの私の講義を履修した皆様には、今から思えば不十分な講義を聞かせてしまい、申し訳なく思っています。今年度の講義（法学概論・法思想史・法理学・法政基礎論 B）のために作成した文章は私の Web サイトでも公開していますので、関心があれば開いてみてください。



私の Web サイトです
(<https://law-kanazawa.info/>)

ウィークエンド・ロースクール（リモート）のご案内



金沢大学法学類では、高校生が法学類生と一緒に「法（ルール）」について考え、理解を深めるセミナー「ウィークエンド・ロースクール」を開催します。文系・理系を問わず、あらゆる分野で必要性が高まっている「ルール・リテラシー」について、ちょっと考えてみませんか。

- ◆ 第1回 2021年2月27日(土) 13時～
「その決め方、ホントにいいの? ～多数決を考える」
- ◆ 第2回 2021年3月14日(土) 13時～
「契約はどこまで自由か? ～労働契約を素材として」
- ◆ 第3回 2021年3月20日(土) 13時～
「法律ディベート ～裁判におけるルールの使い方を考える」

詳細は
こちら!



定員：各回 20 人 高校生・既卒者対象 先着順
(Zoom に接続できる端末を準備できる方に限ります)

※詳細を知りたい方はぜひ法学類 Web サイトをチェックしてみてください!

「私とコロナと刑訴ゼミ」



私たち刑事訴訟法ゼミは、今年度、大学コンソーシアム石川から助成金をいただき、「コロナ禍における刑事司法手続きのあり方」について調査し、課題検討を行いました。前期はすべてオンラインでの活動でしたが、後期からはやっと対面でのゼミも始まり、金沢地方裁判所と金沢地方検察庁を訪問して、直接の聞き取り調査を行うこともできました!

私たちは、マスク着用による声の聞き取りづらさが少なからず問題点に繋がるだろうと考えていたのですが、裁判所も弁護士会もあまり問題に感じていないようで、とても意外でした。その後のゼミでは、質問の聞き方を工夫してはどうかとか、自分たちの実体験をもとに考察しながら、“本当に問題はないのか…?”と、しつこく検討してい

くのが面白かったです。(笑)

立正大学との Zoom を使った合同ゼミでは、お互いに準備してきた問題点や解決策について、質問に答えたり、新たな視点で議論をしたりして、さらに理解が深まったと思います。そして、コロナの影響で刑事司法に生じる問題点は、例えば捜査段階での面会の制約が生じたり、裁判が延期されて被告人の勾留が長引いたり、刑務所や保護観察での社会復帰プログラムが中止になるなど、本当にたくさんあるなぁと改めて感じました。議論の時間が足りなかったです。

でもやっぱり、直接会わないで一日中画面に向かって話すゼミは寂しいし、目が疲れました。例年のように打ち上げができなかったことも、とっても残念です…。(本当に、早くコロナが収まってほしい)

法学類 3 年 N.S.

法学類 P
ハGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課(n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。